

公開セミナー インターカルチュラル・シティ の最前線 ーバルセロナ市の取り組みからー

今日、私たちが暮らすコミュニティは多様な人々を内包しています。コミュニティがいかにより強い絆をもち、多様性を強みにつなげることができるかは世界共通の課題です。

本セミナーではヨーロッパでも先進的といわれるバルセロナ市の多文化共生政策の策定の中心となった Daniel de Torres 氏を講師に、山脇啓造・明治大学国際日本学部教授をコメンテーターとしてお迎えし、バルセロナの多文化共生政策と具体的な取り組みを通じて、日本の多文化共生政策や今後の展望をみなさんとともに議論します。



講師: Daniel de Torres

バルセロナ出身。多文化共生政策の専門家として、2007年から2011年までスペイン・バルセロナ市の多文化共生政策の策定にかかわり、「反うわさ戦略」などの革新的な活動を実施。欧州評議会の「インターカルチュラル・シティ」プログラムのアドバイザー、スペイン国内のインターカルチュラル・シティのネットワーク“Spanish Network of Intercultural Cities”コーディネーター。

コメンテーター: 山脇啓造

明治大学国際日本学部教授。専門は移民政策・多文化共生論。2000年頃から多文化共生社会の形成に向けた様々な政策提言を発表。総務省、法務省、文部科学省、外務省、内閣府など関係府省や東京都、愛知県、宮城県、長野県など地方自治体の外国人施策関連委員を歴任。



日 時: 2015年12月16日(水)17時～19時30分
会 場: 国際交流基金 JFIC ホール
言 語: 日本語/英語(英→日逐次通訳あり)
参 加 費: 無料
お 申 込 み: お名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、
oca@jpf.go.jp までお申込みください。

お 問 合 せ: 国際交流基金 日本研究・知的交流部 03-5369-6071

<http://www.jpf.go.jp/j/project/intel/exchange/organize/intercultural/2015/11-01.html>

